

# 平成 31 年度 学校教育目標・重点目標

京都市立大将軍小学校

## ◎ 教育目標 <よんきゅうじ>

「未来を拓き、しなやかに生きる子どもの育成」

【身に付けたい資質・能力】 課題解決力・コミュニケーション力  
～ 心身ともに豊かでたくましく 共に高まり合う子ども～

## ◎ めざす子ども像 <よんきゅうじ>

- ・自ら進んで学習する子
- ・自ら考え表現できる子
- ・他者との関わりを大切にし、正しく判断・行動する子
- ・地域を愛する子

## ◎ めざす教職員像

- ・児童を常に中心に考える（教職員は児童のためにある）
- ・児童と共に汗をかいして活動する（率先垂範）
- ・教職員は人間として、常に自己を高める努力をする（学ぶ姿によって児童は伸びる）
- ・教職員としての<sup>きょうじ</sup>矜持をもつ（職責の自覚とプロ意識）

## ◎ めざす学校像

「信頼される学校づくり」

- ・児童が「明日の登校を待ちわびる学校」、教職員が「仕事が楽しいと思える学校」、保護者や地域が「自慢にできる学校」をつくる。

## ◎ 重点目標

### 1 学習指導

- ・「自ら進んで学習する力」と「自ら考え表現する力」をつける。<よんきゅうじ>
- ・「基礎的な学力」と「探究的（活用型）な学力」の学力向上をめざす。
- ・研究活動を通して「豊かに感じ、考えを深め、共に高まり合う子どもの育成（仮題）」をめざす。
- ・毎日の家庭学習により、主体的な学びにつながる自学自習の習慣化を図る。

### 2 道徳

- ・「規範意識の高まり」と「自立・自律の心」「自己有用感」を育む。
- ・「特別の教科道徳」の効果的な指導と評価を確実に実施・展開する。
- ・道徳科と教科等の学習との関わりを別葉の形で作成し、指導に生かす。

### 3 生徒指導

- ・「他者との関わりを大切にし、正しく判断・行動する力」をつける。<よんきゅうじ>
- ・日頃より児童の言動に注意を払い、寄り添いながら予防的生徒指導に心がける。
- ・「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を常として児童に臨む。

### 4 健やか教育

- ・「豊かな心・健やかな身体」をもつ児童の育成を目指す。
- ・教科等、児童会活動、保健指導が連動し、児童の「健やか教育」をより効果的に高める。
- ・基本的生活習慣の確立に努め、子どもの課題に応じた具体的取組を強化する。

- ・食物アレルギー等に対する正しい知識に基づき、適切な対応がとれるよう研修の充実を図る。
- ・薬物乱用防止教育をカリキュラムに位置付け、児童の自己指導力の向上を図る。

## 5 学校環境改善

- ・管理部を中心に他の部署との連携により、学校・学習環境の改善を持続的に行う。
- ・学校予算が更に削減される中で、児童の教育活動に直接関係する費目の削減を避けるために、光熱水費や役務費等の具体的節減対策を実施する。

## 6 外部連携

- ・地域やよんきゅう絆プロジェクトとの連携を強化し、外部支援ボランティアや学生ボランティアの力を活用して大将軍小学校教育を目指す。